

平成30年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
熊本観光ボランティアガイド くまもとよかとこ案内人の会	外国人観光客向けガイド語学研修	MICE施設完成後や2019年以降に予測される外国人観光客増加に対する準備として継続的に語学研修を進めていきます。熊本市は熊本城だけでなく水前寺成趣園等多くの見どころがあります。これらの見どころをスマートに説明できるように日常から外国語会話のスキルを維持しておく必要があります。当会はプロフェッショナルな専門家の集まりではありませんが、外国からお客様を迎える上はしっかりとした会話力をもってお迎えするために、従来の会員同士の研修に加え外部講師を迎えた更に高度な研修とともに外国語ガイドの人数を増やす努力を進めて参ります。	250,000
城南町子供日舞体験教室	城南町子供日舞体験教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本舞踊により、礼法と伝統文化の継承と心豊かな人間性を養う。</li> <li>・地域の文化活動団体との協同により地域づくりにますます貢献していきたい。</li> <li>・2017年11月23日（祝）森都心プラザホールにて、創作舞踊劇3作目、鰐瀬昔ばなし「湯の上ものがたり 今と昔 復興への道」を公演したが、郷土に残る歴史・文化遺産などを生かし子供達に学習させ、次回への公演につながる予定である。</li> </ul>	250,000
NPO法人 あまてらす	熊本から、氣功体操の輪を広げよう！プロジェクト	心身ともに健康になるためには、力を抜くということが大切である。ゆっくりとした動作で酸素を取り込める氣功体操は、体だけではなく精神にも大変良い影響がある。伝統武術であるコンギョン氣功術を、誰でも実践できる氣功体操法として作られた、韓国の大家である金ジョンソク氏より直接指導をいただき、ひとつの健康法として熊本より発祥させ、指導者を増やし、普及していく。	220,000
NPO法人 消費者支援ネットくまもと	消費者シンポジウム「地域で見守ろう！みんなで防ごう消費者被害」	近年、消費者トラブルは、技術の進歩に伴う商品・サービスや取引方法の変化により複雑化・多様化しており、一旦消費者被害に巻き込まれたら、その被害回復は容易ではありません。特に、高齢者等の社会的弱者と呼ばれる人たちは消費者被害に遭いやすい傾向にあります。そこで、被害に遭わないよう見守るとともにみんなが安心して暮らせるよう、地域全体で消費者被害の予防・撲滅に取り組むことが重要です。このため、行政、警察、消費者団体、法律の専門家、福祉関連団体等が一堂に会し、その認識を共有し連携を深めるためにシンポジウムを実施します。	250,000
NPO法人 ディスカバリーくまもと	熊本城を訪れる外国人を英語でガイドする為の次世代講座	私達のグループは、現在水前寺成趣園内にコンシェルジュデスクを設置し、毎週土、日、国内外の観光客に対して常駐ガイドを実施しています。さらに平成29年度のくまもと・わくわく基金の助成を受け、次世代観光人財育成を目指し、水前寺成趣園周辺の小学生を対象に「英語でボランティアガイド養成講座」を実施しました。同時に地震被災後の熊本城、益城町、西原村、阿蘇のガイドもやっております。この経験を生かし平成30年度は熊本市内の高校生に働きかけて復興中の熊本城の「英語でガイド養成講座」を定期的に行います。高校生が対象となりますので、講座終了後2019年のラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権大会、それに2020年の東京オリンピックにむけて海外からの観光客を英語でガイド出来る、即戦力として活躍出来るように養成します。また実施の為の当会と学校との打合せ、生徒募集のチラシ作成、募集活動等を計画してます。	180,000

平成30年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・ マスタース熊本	地元の小中学校への教育活動支援 事業	平成19年度より、当NPOは会員が居住する地域の小中学校に出向き、学校から要望のあった支援活動を行ってきている。現在、地震後の子ども達の生活環境の変化もあり、各学校には、子どもの多様な実態に対応するために多くの課題も生じ、これまで以上に先生方の負担が重くなっている。そこで、特に増加傾向にある特別に支援の必要な子どもへの見守り・寄り添い支援を29年度の実績を踏まえて一層の充実を図っていく。行政の即応が難しいと思われる細かく迅速で柔軟な支援を促進していく。	140,000
NPO法人 くまもとオカリナの会	熊本地震復興支援「第3回くまもとオカリナッセ」	オカリナの普及活動と熊本地震からの復興を支援し、内外にアピールするため実施した「くまもとオカリナッセ」では、第1回では国内から100名を超える参加者があり、昨年の第2回では韓国で活躍する2団体16名の参加を含め、120名を超える参加者を得て実施した。第3回ではこれまでの経験を踏まえ、国内外に拡大するために、世界で活躍する第1人者の大沢聡氏を招聘し子どもたちと触れ合いの場を作る。更に国内外に熊本の文化はもとより地震からの復興をアピールする。	150,000
NPO法人 スポレク・エイト	ロコトレ健康教室	『西部地域の交流を深め、健康で生きがいのあるまちづくり』の理念の下、西区高齢者の方を中心にロコトレ教室で福祉レクリエーションやヨーヨーお手玉を楽しみながら、リングを利用したストレッチや体幹トレーニング等を取り入れ健康増進につなげていく。また今年は、エアボールやフープディスクゲッターを取り入れゲーム感覚で童心にかえって楽しんで頂き団体行動の楽しさと運動の出来る喜びをあげてもらいます。また、指導者の育成にも力を入れてまいります。	87,000
日本コーチ協会熊本支部	コミュニケーション de 熊本 を元気に！！	人や組織が持つ能力や可能性・行動力を最大限に引き出し、熊本を元気にするための活動として、「相手が自ら考え、自発的に行動し成長していく」ことを促すコーチングというコミュニケーションの技法をベースとした勉強会を行っています。2007年より月1回のペースで、傾聴・アンガーマネジメント・自己理解他者理解・モチベーションアップ・リーダーシップ・タイプ別コミュニケーション・子育て等、多岐にわたる分野の講師を招き、暖かい雰囲気の中、多くの方々が安心して話せ、元気になる場をご提供しています。また、依頼があれば、講師の紹介もしています。	200,000
熊本の大気汚染を考える会	熊本の大気汚染測定運動を通して 郷土の環境保全を図る活動	熊本での大気汚染測定運動を通して「環境保全を図る生活」に取り組むとともに、市民への啓発活動を広げていく。具体的活動として、1. 全国一斉大気汚染測定（夏・冬2回）に参加する。2. 大気汚染測定参加を呼びかけ、大気汚染公害をなくし、環境保全に関心を持つ市民を増やす。3. 環境教育講演会や環境フェアを通して、市民が環境問題に取り組む場を提供する。特に、子どもたちへの啓発活動に力を入れて取り組みたい。	220,000

平成30年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
NPO法人 身近な犯罪被害者を 支援する会	犯罪被害者等への理解と被害に遭 われた方への相談窓口の周知対策	現状は、犯罪被害に遭っても、どのような支援制度があるのか、どうすればいいの か、内容が理解されておらず、利活用が出来ず届出もせず一人で、悩み苦しんでいる 方が多い、孤立化して、経済的にも精神的にも落ち込み、噂話や中傷に悩み二次被害 に遭っている、相談員になる支援者も不足し、市民の関心も希薄であり、被害者等支 援制度の理解と、支援活動への関心高めるために。	78,000
特定非営利活動法人 優里の会	「里親制度の普及啓発と支援を強 化するための事業」	毎年里親制度の普及啓発を目的として講演会を開催していますが、今回は里親への支 援には何が必要かを参加者と共に考えるための講演会を開催します。また、毎年参加 している区民祭り・はあもにいフェスタに加えて、ショッピングセンター等でも広報 啓発活動を行い、より多くの市民に里親制度を理解してもらえるようにします。	210,000
うえき自然塾	里山での親子自然体験活動	豊かな自然の中で、親子で思いっきり体を動かし、友だちと遊びながらたくましさや 優しさを培うことを目指し、四季折々の活動を設定している。基本的には、毎月1回 の季節に応じた野外体験活動（作る・食べる・遊ぶを軸に、竹を使った工作、川遊 び、調理体験、飯盒炊飯、山遊び等）をスタッフの指導の下で体験活動を行う。	130,000
ことう文庫の将来を考える会	「ことう文庫の本がみんなの居場 所です」	今年一年間の事業で利用者、貸出冊数が増え、リピーターの親子がいてくださいま す。来年は、ことう文庫が持っている、子どもの心に寄り添い、生きる力を育む本を 中心に置いた事業を行います。①本の紹介データベースを作り、もっと本の良さ、 本の力を発信します。また、②毎週の開館時に行ってきた工作や体験についても、 データベースを作り、発信します。③多世代交流事業も、本を中心に置き、お気に 入りの本を紹介しあう形で行います。	120,000